

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	競技者・指導者等のスポーツキャリア形成支援事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	競技スポーツ課長 声立 訓	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	競技スポーツ課				
会計区分	一般会計		施策名	XI-3 我が国の国際競技力の向上				
根拠法令(具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定) スポーツ立国戦略 (平成22年8月26日策定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	競技者・指導者等が、生涯にわたり、社会の各分野で活躍できる基盤(スポーツキャリア)の形成を図るため、国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター・競技団体等と連携し、ジュニア期から引退後まで、キャリアデザインの育成やキャリアアップの促進、資金面の援助など、競技者・指導者等が安心してスポーツに取り組める環境を整備する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	(1)スポーツキャリア大学院プログラム 世界で活躍できるスポーツ競技者、指導者を対象とした大学院の教育プログラムを開発する。 (2)キャリアデザイン支援プログラム ジュニア競技者、指導者、保護者、競技団体のスタッフ等に対して、教育啓発を図るためのガイダンス等を開催する。 (3)国際的スポーツ人材養成プログラム スポーツ団体の優れた人材を国際的スポーツ団体等に派遣し、国際的なスポーツ政策立案について研修する機会を提供する。 (4)ジュニアエリート支援プログラム タレント発掘オーディションや長期休業期間を活用した強化合宿等を実施する。また、JOCエリートアカデミー事業(JOCが国の補助金をもとに平成20年度から実施)におけるジュニアエリートを対象とした学校教育支援プログラムの開発、メンタルケア等のサポート体制を確立す							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	110	95	155	
		繰越し等	—	—	△8			
		計	—	—	0			
		執行額	—	—	102	95	155	
執行率(%)		98.0%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(25年度)	
	(1)スポーツキャリア大学院プログラム開発した教育プログラムを大学院のカリキュラムとして運用した大学数	成果実績	プログラム	—	—	0	5	
		達成度	%	—	—	0.0%		
	(2)キャリアデザイン支援プログラムキャリアデザインセミナー・カウンセリング参加者数	成果実績	人	—	—	262	—	
		達成度	%	—	—	—		
	(3)国際的スポーツ人材養成プログラム国際スポーツ団体の政策決定過程において、情報収集・情報発信を行える人材を養成し、国際的なスポーツ界における我が国の情報収集・発信能力を高め、影響力の強化を図ることが目的であるため、定量的な指標にはなじまない。	成果実績						
		達成度	%					
(4)ジュニアエリート支援プログラムタレント発掘オーディション参加者数	成果実績	人	—	—	358			
	達成度	%	—	—	—			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	(1)スポーツキャリア大学院プログラム教育プログラム開発の実施数	活動実績(当初見込み)	プログラム	—	—	5	—	
					(5)	(5)		
	(2)キャリアデザイン支援プログラムキャリアデザインセミナー・カウンセリングの実施回数		回	—	—	44	—	
					(10)	(10)		
(3)国際的スポーツ人材養成プログラム国際的スポーツ団体等への派遣人数	人	—	—	2	—			
			(3)	(3)				
(4)ジュニアエリート支援プログラムタレント発掘オーディション開催数	回	—	—	9	—			
			(10)	(10)				
単位当たりコスト	(1)スポーツキャリア大学院プログラム教育プログラム開発1件当たりのコスト(9,149,202円/1プログラム)		算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度スポーツキャリア大学院プログラム執行額(45,746,009円)/教育プログラム開発件数(5プログラム)				
	(2)キャリアデザイン支援プログラムキャリアデザインセミナー・カウンセリング実施1回当たりのコスト(369,724円/1回)			単位当たりコスト=平成22年度キャリアデザイン支援プログラム執行額(16,267,857円)/キャリアデザインセミナー・カウンセリング実施回数(44回)				
	(3)国際的スポーツ人材養成プログラム国際的スポーツ団体等への派遣者1人当たりのコスト(9,320,604円/1人)			単位当たりコスト=平成22年度国際的スポーツ人材養成プログラム執行額(18,641,207円)/国際的スポーツ団体等への派遣人数(2人)				
	(4)ジュニアエリート支援プログラムタレント発掘オーディション開催1回当たりのコスト(1553196円/1回)			単位当たりコスト=平成22年度タレント発掘オーディション・育成の実施執行額(13,978,760円)/タレント発掘オーディション開催数(9回)				

平成23・24年度予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
	諸謝金、職員旅費、委員等旅費、庁費	1百万円	5百万円	支援プログラムの新規追加
	スポーツ振興事業委託費	94百万円	150百万円	
	計	95百万円	155百万円	

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・予算の執行状況に係る点検方法については、委託先団体から提出される委託事業完了報告書、証拠書類(見積書、納品書、請求書、領収書等)により適切な執行がなされているか検査を行った。</p> <p>・資金の流れ、使途の点検方法については、現地調査を行うことで適切な執行がなされているか確認するとともに、実際にセミナーを参観し、プログラム内容や参加者の様子(満足度等)を確認することで、参加者のニーズの把握に努めた。</p> <p>・活動実績に係る点検方法については、委託先団体から提出される委託事業完了報告書、成果物により事業内容や管理状況について確認を行った。</p> <p>・事業成果としては、スポーツキャリアの形成を図るためのモデルとなるプログラムが開発され、競技者・指導者等が安心してスポーツに取り組める環境の整備推進が図られた。</p>		

予算監視・効率化チームの所見	
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、競技者・指導者等が、生涯にわたり、社会の各分野で活躍できる基盤(スポーツキャリア)の形成を図るため、JISS・NTC・NF等と連携し、ジュニア期から引退後まで、キャリアデザインの育成やキャリアアップの促進、資金面の援助など、競技者・指導者等が安心してスポーツに取り組める環境を整備することを目的とした事業であり、予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：①我が国の国際競技力の向上を図るための必要な経費である。 ②平成23年度予算において積算単価の見直しを図り、予算の縮減を図っている。平成24年度概算要求においても、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減等に努めるべきである。</p>

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
「スポーツキャリア大学院プログラム」の対象箇所数を見直すなどにより、概算要求に▲8.955百万円反映した。	

補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)	

文部科学省
100百万円

職員旅費 0.6百万円
委員等旅費 0.4百万円 } を含む

競技者・指導者等が、生涯にわたり、社会の各分野で活躍できる基盤(スポーツキャリア)の形成を図るため、JISS・NTC・NF等と連携し、ジュニア期から引退後まで、キャリアデザインの育成やキャリアアップの促進、資金面の援助など、競技者・指導者等が安心してスポーツに取り組める環境を整備する。

【公募・委託】

A. スポーツキャリア大学院プログラム:46百万円
大学(全5大学)

世界で活躍できるスポーツ競技者、指導者を対象とした大学の教育プログラムを開発する。

【公募・委託】

キャリアデザイン支援プログラム:16百万円
民間団体(全2団体)

B. (財)日本オリンピック委員会:8百万円

C. (社)日本プロサッカーリーグ:8百万円

ジュニア競技者(ユースエリート)、指導者、保護者、競技団体のスタッフ等に対して、教育啓発を図るためのガイダンス等を開催し、競技者の競技生活初期からのキャリア意識の向上やキャリアデザインの重要性等について、理解促進を図る。ジュニア競技者が将来への希望や期待、さまざまな選択肢をもつことで、より安心して競技生活をおくり、競技力の向上を図る。

【公募・委託】

国際的スポーツ人材養成プログラム:19百万円
民間団体(全2団体)

D. (財)日本サッカー協会:10百万円

E. (財)全日本柔道連盟:9百万円

スポーツ団体の優れた人材を国際的スポーツ団体等に派遣し、国際的なスポーツ政策立案について研修する機会を提供する。国際スポーツ団体の政策決定過程において、情報収集・情報発信を行える人材を養成し、国際的なスポーツ界における我が国の情報収集・発信能力を高め影響力の強化を図る。

【総合評価入札・委託】

F. ジュニアエリート支援プログラム(エリートアカデミー生コンサルティング):4百万円
(有)アトラスレポルブ

JOCエリートアカデミー事業におけるジュニアエリートを対象とした学校教育支援プログラムの開発、心のケアや進路相談等、学習及び生活面に対するサポート体制を確立し、競技面以外の支援プログラムを構築する。

【公募・委託】

G. ジュニアエリート支援プログラム(タレント発掘オーディションの実施及び育成):14百万円
都道府県競技団体(全8団体)

タレント発掘オーディションや長期休業期間を活用した強化合宿等を実施することにより、ナショナルレベルにつながるジュニアタレントの発掘及び一貫指導・育成を一層効果的かつ効率的に実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記載)

A.国立大学法人筑波大学			E.(財)全日本柔道連盟		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	非常勤研究員	4	賃金	国際柔道連盟派遣職員賃金	4
旅費	海外事例調査、シンポジウム講演者旅費	4	旅費	国際柔道連盟派遣旅費・滞在費	3
その他	通訳・シンポジウム講演者謝金、報告書作成費、消耗品費、ホームページ	2	借損料	アパートメント賃料、海外用モバイルデータ通信レンタル	1
一般管理費		1	その他	海外旅行保険料、不課税経費	1
計		11	計		9
B.(財)日本オリンピック委員会			F.(有)アトラスレポルブ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
プログラム作成費	キャリア教育実践支援プログラム作成、キャリアデザインプログラム作成	4	賃金	講師、カウンセラー	3
雑役務費	映像補助教材作成、コミュニケーションスキルカード作成、報告書作成	2	その他	講演謝金、テキスト、実カテスト、会議費、報告書郵送切手代、一般管理費	1
その他	プログラム開発のための有識者謝金、講師出張旅費、報告書印刷製本、消耗品費、会議費	2			
計		8	計		4
C.(社)日本プロサッカーリーグ			G.埼玉陸上競技協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
プログラム作成費	教材作成、教材映像作成	3	諸謝金、旅費	指導者謝金・旅費、先進事例調査旅費	1
旅費	講師旅費・宿泊費、スタッフ旅費・宿泊費	2	その他	会場使用料、報告書印刷費、オーディション用消耗品費、コントロールテスト等データ収集・分析、会議費	1
その他	講師謝金、報告書作成	2			
実施記録作成費	プログラム実施記録映像作成	1			
計		8	計		2
D.(財)日本サッカー協会			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	イングランドサッカー協会派遣職員賃金、ヨーロッパサッカー連盟派遣職員賃金	4			
旅費	イングランドサッカー協会派遣旅費・滞在費、ヨーロッパサッカー連盟派遣旅費・滞在費	4			
その他	ロンドン滞在時アパート賃料、会議費、荷物搬送料、海外旅行傷害保険料、消費税相当額	2			
計		10	計		0

支出先上位10者リスト

A.スポーツキャリア大学院プログラム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人筑波大学	連合大学院による「ナショナルリーディングコーチ養成プログラム」を開発	11	企画競争	—
2	国立大学法人鹿屋体育大	ヨット競技を中心としたコーチ育成教育プログラムを開発	10	企画競争	—
3	早稲田大学	本学既存の修士課程に必要な新設科目を追加して新たなプログラムを開発	9	企画競争	—
4	仙台大学	キャリア支援に寄与する新たな大学院レベルのプログラムモデルを開発	8	企画競争	—
5	国立大学法人福島大学	「陸上競技短距離指導者のためのコーチングプログラム」を開発	7	企画競争	—

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

B.キャリアデザイン支援プログラム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本オリンピック委員会	指導者による実践につなげるためのプログラムや教材の開発、ジュニア競技者の意識変容につながるキャリアデザイン教育プログラムの開発	8	企画競争	—

C.キャリアデザイン支援プログラム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本プロサッカーリーグ	Jクラブのアカデミーに所属するジュニアユースを対象の選手を対象に、モデル的にプログラムを実施	8	企画競争	—

D.国際的スポーツ人材養成プログラム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本サッカー協会	サッカーの国際的な統括団体に人材を派遣し、重要な政策決定に影響力を持つ人材を養成	10	企画競争	—

E.国際的スポーツ人材養成プログラム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)全日本柔道連盟	全日本柔道連盟の人材を国際柔道連盟に派遣し、研修することで、国際柔道界における情報収集・発信を行える幅広い人脈を持った人材を養成	9	企画競争	—

F.ジュニアエリート支援プログラム(エリートアカデミー生コンサルティング)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)アトラスレポルブ	JOCエリートアカデミー事業におけるジュニアエリートを対象とした学習サポート、生活サポートの実施	4	2	90.2%

G.ジュニアエリート支援プログラム(タレント発掘オーディションの実施及び育成)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	埼玉陸上競技協会	「彩りの国競技者・指導者育成プログラム」をベースに、さらなる育成プログラムを開発	2	企画競争	—
2	山口県レスリング協会	レスリング選手の発掘・育成	2	企画競争	—
3	福岡県セーリング連盟	セーリング選手の発掘・育成	2	企画競争	—
4	福島県スキー連盟	フリースタイルスキーモーグル選手の発掘・育成	2	企画競争	—
5	和歌山県フェンシング協会	フェンシング選手の発掘・育成	2	企画競争	—
6	千葉県セーリング連盟	セーリング選手の発掘・育成	2	企画競争	—
7	北海道スケート連盟	ショートトラック選手の発掘・育成	2	企画競争	—
8	秋田県レスリング協会	レスリング選手の発掘・育成	1	企画競争	—

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。